

# からたち



第53号  
新春  
2023.1

## p.3 特集

「シリーズ 医学ア・ラ・カルト」痛み止めが原因となる頭痛-「薬剤の使用過多による頭痛」

p.2 新年のご挨拶

p.4 部署紹介（外来）

p.5 栄養科より ～行事食のご紹介～

p.6 翠の会でウォーキングを行いました、新卒看護師：リフレッシュ研修実施

p.7 病院からのお知らせ 診療日変更のお知らせ、着任医師紹介・退職医師紹介



「お座敷盆梅」（撮影地 梅花園 みやま市山川町） 撮影者/地域医療連携室 看護師 北嶋 尚子

一般財団法人 医療・介護・教育研究財団  
 柳川病院

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

- 患者さんに良質で安心な医療を提供します
- 医学・医療技術の研鑽に努め、最新の医療を提供します
- 地域福祉の向上と、疾病予防策を実践します
- 風通しの良い、明るく働きがいのある健全な職場を目指します



# 新年のご挨拶

令和  
五年



理事長

馬場崎 紀文

新年明けましておめでとうございます。  
今年もどうぞよろしくお願いいたします。  
年頭にあたり一言、年始のご挨拶を申し上げます。  
昨年を振り返りますと、ショッキングで、悲しいニュースに見舞われた1年となりました。

何より、安倍元首相の銃撃事件は国民に大きな衝撃を与えました。また、世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まり、その動向について世界中が緊張の目を持って見守っています。ウクライナ侵攻の影響を受けた原料不足や、エネルギー資源の高騰に伴う物価上昇は、私たちの生活にも多大なる影響を及ぼしており、混沌とした経済状況は今年も続く事が予想されます。

明るいニュースでは、大リーグでの大谷翔平選手の活躍や、サッカーワールドカップでのベスト16入り、そして冬期五輪での日本勢の活躍、また、将棋の藤井聡太竜王が10代で五冠を達成するなど、若い世代の活躍が目覚ましく、新時代の幕開けに歓喜しました。若い世代が頼もしく思える出来事でした。

さて、医療業界といえますと、昨年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となりました。新型コロナについては、ワクチン接種も進み、治療薬も開発されてきております。国は、従来までの行動制限など行わず、新型コロナウイルス感染対策と社会経済活動の両立へと舵を切りました。しかしながら、新型コロナ感染者は増減を繰り返し、病院では職員が感染対策を

徹底し、細心の注意を払いながら従事する日々が続いております。今後も新型コロナウイルスへの国の方針を注視しつつ、病院運営を行います。

これからの医療業界は、高齢化や、人口減少による働き手不足など将来に向けて課題や、山積しております。

来年には、医師の働き方改革が本格的に始動致します。医師の勤務時間上限により、診療時間等を変更する医療機関も出ているという話もありますが、柳川病院は柳川地域の中核病院として、他の医療機関や施設の皆様と連携し、患者さまにこれまでどおり安心して医療サービスを受けていただく事が役割であると考えております。そのためには、医師だけではなく、全職種の役割を見直し、改善していく事が課題です。

また、医療システムの構築や、それに伴うサイバーセキュリティ対策など、新たな分野でも対応が求められています。

大きな転換期を迎えますが、柳川病院の職員一人一人の知恵や知識を結集してこの局面を乗り越えて参ります。

皆様におかれましても、今年の干支「卯（うさぎ）」のように『飛躍』し、『向上』する年になりますよう、お祈り申し上げます。



院長

於保 和彦

新年あけましておめでとうございます。  
年頭にあたりご挨拶申し上げます。

昨年、2022年の世相を表す一文字は「戦」でした。新型コロナウイルスとの戦いも「戦」ですが、なんとといっても2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻は全世界に衝撃をもたらしました。戦争の余波は戦場にとどまらず、世界規模での食料危機、エネルギー危機、物価の高騰、そして各国の軍拡をエスカレートさせています。毎日入ってくるウクライナの惨状を見るにつれやるせない気持ちになります。一刻も早い終結を望みます。一方で、スポーツでも「戦」が繰り返されました。北京冬季オリンピックでは日本選手団は過去最多18個のメダルを獲得しました。11月に始まったカタールでのサッカーワールドカップではSAMURAI BLUEが強豪ドイツ、スペインを破り、グループリーグ1位通過し、クロアチアにPK戦で敗れはしたものの、これまでとは違う景色を見せてくれました。私にはわかファンでしたが、心から興奮しながら観戦しました。その他にも車いすテニスの国枝慎吾選手が生涯グランドスラム（四大大会全制覇+パラリンピック金メダル）という偉業を達成したこと、エンゼルスの大谷翔平選手が投打で大活躍したなど、暗い世相の中、国民に勇気と日本人としての誇りを与えてくれました。スポーツは本当に良いものです。

2022年はまた新型コロナウイルス COVID-19 に翻弄された1年でした。COVID-19はオミクロン株に置き換わり、弱毒化したものの感染力がより強くなっています。職員にも感染が広がったことで当院の医療業務にも一部支障をきたす事態となりました。

た。年末は第8波だった中であり、年始にピークを迎えると予想されます。コロナ禍も丸3年経ちました。気持ちは“With コロナ”で、過剰反応することなく、明るい“Post コロナ”を信じて今しばらく頑張りましょう。

さて柳川病院では2022年4月から泌尿器科に濱口益光先生が着任しました。我が国では高齢化社会を迎え前立腺がんが増加しています。診断のためには前立腺の生検が必要です。これまでは他院に紹介していましたが、当院でも生検ができるようになりました。また経尿道的手術により膀胱腫瘍や前立腺肥大の手術も行っています。さらに麻酔科に村上亜紀子先生が着任しました。当院では各科の手術件数が増加しています。常勤の麻酔医は、手術のスケジュール調整、術前・術中・術後のいわゆる周術期の患者さんの管理、緊急手術への対応などを担ってくれ頼もしい存在となっています。当院はこれからも診療機能をさらに充実させていく予定です。

最後になりますが、本年も柳川病院は“地域の皆様に親しまれ、信頼される病院”を目指し、職員一同努力してまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2023年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念し新年のご挨拶と致します。

# 痛み止めが原因となる頭痛 - 「薬剤の使用過多による頭痛」 (薬物乱用頭痛, Medication-Overuse Headache)

脳神経外科 部長 岡本 宏昌 先生

世の中に「頭痛持ち」の方は多く、その対応として痛み止めを内服される方も多いと思います。痛い時だけたまに使っているという場合には問題ありませんが、週に何回も（毎日ということも）内服されている方は、その痛み止めが頭痛の原因となっている可能性があり注意が必要です。

頭痛に対して痛み止めを過剰に使用すると頭痛の頻度がさらに増加し、毎日のように頭痛が起こるようになることがあります。このような頭痛は「薬剤の使用過多による頭痛」と呼ばれています（以前は「薬物乱用頭痛」と呼ばれていましたが、その「薬物乱用」という言葉が非合法の薬物の乱用を思い浮かばせるということで、現在は呼び名が変わっています）。

どのようなタイプの鎮痛薬でも「薬剤の使用過多による頭痛」を起こす可能性があります。特に複合鎮痛薬というタイプの薬剤ではリスクが高く、その内服が1か月に10日以上、つまり3日に1回以上の頻度で内服している場合に（1日に何回内服するかではありません）、「薬剤の使用過多による頭痛」の診断となる可能性があります。処方無しに購入できる市販薬（OTC医薬品）には、痛み止めとカフェインが配合されている複合鎮痛薬が多く注意を要しますが、病院で処方される薬剤にも複合鎮痛薬があり（CMCPなど）、病院でもらう薬であれば大丈夫だということはありません。不思議なことに他の部位の疼痛、例えば腰痛などに痛み止めを頻回内服しても痛みをひどくするということと言われておらず、頭痛に特有な作用や機序があると考えられます。なお、「薬剤の使用過多による頭痛」の治療としては、まず原因となりうる頭痛薬を中止し、薬剤中止後の頭痛への対処（原因薬剤以外の頭痛薬での対応）、予防薬の投与を行うこと、が原則とされます。

「薬剤の使用過多による頭痛」が起こるようになる原因の一つに、慢性頭痛の適切な治療が行われていなかった可能性があります。一次性（脳卒中や脳腫瘍などが原因ではない）の慢性頭痛には、大きく分けて「緊張型頭痛」と「片頭痛」の二つがあります。緊張型頭痛は典型的には「締め付けられるような」頭痛であり、首や肩などの痛みを伴うことも多く（肩こりからくる頭痛など）、一般的な鎮痛剤の効果があり治療はその内服などの対応でよいと思います。問題となるのが片頭痛であり、頭の片方が一時的に痛くなることを片頭痛と呼ぶ方も多いと思いますが、「片頭痛」という本当の病気があり、典型的には、目にキラキラ、ギザギザした波のようなものが見え、次第にその範囲が広がっていくという前兆が出現したのち（閃輝暗点（せんきあんてん）と呼ばれます。ただし片頭痛としてはこの閃輝暗点がないタイプの方が多いとされます）、どちらかの目の付近がずきんずきんと痛み、増強し、数十分から数時間以上続きます。吐き気や嘔吐、感覚過敏（まぶしく感じる、うるさく感じる、など）も一緒に起こることが多く、頭痛持ちの方が頭痛でぐったりして動けなくなる、というのは片頭痛であることが多いとされます（特に若い女性に多く見られます）。文豪芥川龍之介も片頭痛に悩まされていたと言われ、「歯車」という作品の中にもその発作の記述があります。

のみならず僕の視野のうちに妙なものを見つけ出した。妙なものを？と云ふのは絶えずまはつてゐる半透明の歯車だつた。僕はかう云ふ経験を前にも何度か持ち合わせてゐた。歯車は次第に数を殖やし、半ば僕の視野を塞いでしまふ、が、それも長いことではない。暫らくの後には消え失せる代りに今度は頭痛を感じはじめる、—それはいつも同じことだつた。

片頭痛には通常の鎮痛薬も効果がありますが不十分なことが多く、そのため鎮痛剤の内服が増え、さらに痛みに対する不安なども強くなります。痛み止めを多く使用するようになってしまい、「薬剤の使用過多による頭痛」に至ってしまうことが少なくないようです。片頭痛に対してはトリプタン製剤といういわゆる特効薬のような薬剤での対応が大切であり、頭痛発作の頻度の多い方は、それに加えて予防薬を定期的に内服するという予防治療を行います（最近では月に1回の注射での予防薬もありその効果も高いとされています）。

これらの治療を行われたうえで、頭痛薬の内服に関しては、何となく痛いという程度ではまだ内服せず、頭を振ると痛い、というぐらいのタイミングで内服する、また、痛くもないのに予防的に内服しない、頭痛が全く無くなることを目指して内服しない、などのことにも留意して、頭痛薬の内服回数を過剰に行わないように気を付けることが、「薬剤の使用過多による頭痛」にならないために大切なことだと思います。





YANAGAWA HOSPITAL

## 部署紹介

### 外来



外来では、内科・外科・整形外科・脳神経外科・循環器内科・心臓血管外科・泌尿器科・婦人科・皮膚科、専門外来として血液内科・甲状腺／糖尿病外来・肝臓外来の診療科があり、採血／処置室、救急室対応も行っています。他に、心臓カテーテル検査／治療、内視鏡検査／治療、外来化学療法も担当しており、特殊検査・治療に精通した看護師、認定看護師、技師が対応しています。患者さんが不安無く、安心して受診できるよう、各科医師、看護師、事務職員、コ・メディカル職員と連携をはかり、安心安全な医療の提供を目指し看護業務を行っています。



救急処置室



カテーテル室



内視鏡室



### ご心配ご不安な事がありましたら気軽にお声掛けください

コロナ禍の中、当院でも発熱外来を行っています。受診時間の調整等の為、発熱・咳など症状のある方は一度お電話をいただくようご協力をよろしくお願い致します。

### 発熱外来専用ダイヤル

① 0944-32-8314

② 0944-32-8352

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00 ~ 11:30

11:30以降はお問合わせのみになります。

#### 【対象症状】

- ・受診時より1週間以内に発熱がある
- ・咳、または息切れのほか、倦怠感等の症状がある
- ・嗅覚、味覚症状がある



# ～行事食のご紹介～

当院では入院中も四季を感じていただけるように行事食の提供を行っています。  
今回は、当院で提供したお正月メニューについて紹介します。



## — 正月 —



## おせち料理



お正月は新たな1年の実りを願う祭事で、おせちはその神様へお供えした料理です。  
また家族の幸せを願う縁起物の料理です。五穀豊穡、子孫繁栄、家族の安全と無病息災などの願いが込められています。

### — 1/1 —

#### 朝

- ・ご飯（ごま塩）
- ・すまし汁
- ・おせち盛り  
（錦玉子・なます・えび）
- ・祝い肴（昆布・するめ）



#### 昼

- ・赤飯
- ・炊き合わせ
- ・菊花和え風
- ・饅頭



#### 夕

- ・ゆかりご飯
- ・ぶりの照り焼き
- ・おせち盛り  
（ゴボウ・栗きんとん・黒豆）
- ・紅白そうめん汁



### — 1/2 —

#### 朝

- ・ご飯（ごま塩）
- ・すまし汁
- ・盛り合わせ  
（焼き魚・白和え）
- ・祝い肴（昆布・するめ）



#### 昼

- ・ちらし寿司
- ・おせち盛り  
（数の子・蒲鉾・和え物）
- ・すまし汁
- ・ねりきり



#### 夕

- ・わかめご飯
- ・筑前煮
- ・おせち盛り  
（伊達巻・和え物・ごま和え）
- ・牛乳寒天



1月は7日に七草がゆ、11日に鏡開きと年末年始から行事食に触れる機会が多い時期です。  
今後も栄養課では、季節や行事に沿った食事を提供していきたいと思えます。  
行事食には色々な願いが込められています。ぜひ、行事食に触れ素晴らしい1年となりますように・・・



# 翠の会でウォーキングを行いました



翠の会委員長：高口 直美

翠の会では年に数回のイベントを開催しています。中でも恒例となっているウォーキングを10月6日に行いました。今年は、日本の道100選に選定されている「水辺の散歩道」を歩き日吉神社までウォーキングを行いました。

ウォーキングの目的としまして、運動をすることで血液中のブドウ糖が消費され血糖値を下げる事が出来ます。また、同じ疾患をもった患者同士悩みや不安を分かち合い、情報を交換することにより患者同士の支え合いの場となります。

2月には室内でできるレクリエーションを予定していますのでご興味のある方は参加をお待ちしています。



## 新卒看護師：リフレッシュ研修実施



看護部長：井上 由美子

柳川病院では、今年度入社の方の5名の新卒看護師と担当指導看護師に対するリフレッシュ研修を11月11日に実施しました。今年度は、八女の「夢たちばなビレッジ」での、「ピザ作り」と「リース作り」を企画しました。

自然の中で、自分たちでピザ窯で焼いた焼きたてのピザの味は最高でした。みんなの笑顔があふれた瞬間でした。その後、木の枝と、木の実や葉っぱを使ったリース作りをそれぞれの感性で思い思いのリース作り体験ができました。みんな集中して一生懸命な姿が印象的でした。日頃の現場から離れて体験を通して親睦を深め、リフレッシュできた有意義な1日になりました。



新卒看護師



担当指導看護師



教育委員



2023年1月より、  
**血液内科外来の  
診療日が変更**になります。

変更前	木曜	大屋 周期
変更後	月曜	大屋 周期
	木曜	高木 友輔

※受付時間は 午後 14:00 ~ 16:00 となります。

着任医師紹介



内科  
おおた さとし  
**大田 諭**

血液内科  
たかき ゆうすけ  
**高木 友輔**



退職医師紹介

内科  
いわお なおき  
**岩尾 直樹**

# 外来診療担当医一覧表

2023年1月1日現在

## 受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00  
 午後 14:00 ~ 16:00 [血液内科 (月・木)]  
 13:30 ~ 16:00 [脳神経外科 (金)]  
 13:30 ~ 15:30 [産婦人科 (水)]

※急患については、この限りではありません。

※都合により診察日・時間に変更になる場合がございます。確認のうえ来院ください。  
 ※お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。  
 ※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表		月	火	水	木	金	土	
内科 消化器内科	午前	新患 於保 和彦	大田 諭	大野 美紀	菅 偉哉	大園 太貴	担当医 (急患のみ)	
	午後	再来 菅 偉哉 大園 太貴	菅 偉哉 大野 美紀	於保 和彦 大園 太貴	大田 諭	於保 和彦 大野 美紀		
血液内科	午後	大屋 周期			高木 友輔			
肝臓外来 (第2・3土曜日)	午前	(下記※1参照)					佐野 有哉	
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保 和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来		梶島 正治		永山 綾子	廣松 雄治	
	午後	再来(予約)		梶島 正治		永山 綾子		
循環器内科	午前	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医 (急患のみ)	
	午後	再来		青木 浩樹	松本 徳昭	吉岡 励		坂井 智咲子
心臓血管外科	午前		土井 一義		土井 一義			
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	大地 貴史	貝原 淳	貝原 淳	的野 吾	担当医
	午後	再来		安土 健一	的野 吾		大地 貴史	
整形外科	午前	新患・再来	担当医	担当医	北島 雄人	野崎 修	野崎 修 (第1.3.5)	野崎 修 (第2.4)
	午後	新患	野崎 修	北島 雄人		北島 雄人 (第2.4)	北島 雄人 (第1.3.5)	北島 雄人 (第1.3.5)
産婦人科	午前	新患・再来	大田 俊一郎	大田 俊一郎		大田 俊一郎	大田 俊一郎	勝田 隆博 (第2.4)
	午後	新患・再来			寺田 貴武			
皮膚科	午前		辛島 正志	辛島 正志	休診	辛島 正志	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前		濱口 益光	休診	濱口 益光	植田 浩介	濱口 益光	西原 聖頭
脳神経外科	午前	新患・再来	岡本 浩昌	岡本 浩昌	岡本 浩昌	休診	岡本 浩昌	岡本 浩昌 (第2.3.4.5)
	午後	新患・再来					緒方 敦之	
健診センター	午前		喜多 奈穂	喜多 奈穂	岩本 元一	喜多 奈穂	喜多 奈穂	

検査担当医表		月	火	水	木	金	土
放射線科	午後			小金丸 雅道			
専門エコー外来	午後					黒松 亮子	
内視鏡検査	(下記※2参照)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		向笠 道太	池原 龍一郎	城野 智毅	渡辺 靖友		
婦人科検診	午前	嘉村 敏治	嘉村 敏治				

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

## 柳川病院 患者会

柳川病院では、病院スタッフ(医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士)&柳川病院に通われている患者さんと「翠の会」という患者会を立ち上げています。

## ～翠(みどり)の会の募集案内～

【会 員】 60～80代の10名程度の方が在籍中  
 【活動内容】 勉強会や料理教室、情報交換会、ウォーキング大会等。患者さんが日頃困っていることや悩み事の相談窓口ともなっています。また、会員の方は、月刊「糖尿病ライフさかえ」を毎月無料で読むことができます。  
 【年会費】 3,600円(年度の途中入会の方…月払いとなります)

糖尿病の患者さん、糖尿病に関心のある人、どなたでも入会することができます。

【参加希望の方】  
 柳川病院 翠の会事務局  
**TEL 0944-72-6171**

皆さまのご入会お待ちしております! (森)まで